

\*マンションドクター養成塾 stage4には、大阪教育大学教養学科の4回生が、準備段階から参加して企画を盛り上げてくれています。これまでの感想を寄せていただきましたので、紹介します。

## マンションドクター養成塾 ステージ4 タワーマンション大作戦 に参加して

大阪教育大学教養学科 居住環境学研究室 4回生 長瀬結乃

2019年8月24日(土)、初めて小学生マンションドクター養成塾のセミナーに参加いたしました。「小学生マンションドクター養成塾」の取り組みを大学の研究室の卒業論文の題材として取り上げさせていただくため、今年5月頃から、ヒアリング調査やセミナーの打ち合わせ等に参加させていただいており、ついに初のセミナー当日を迎えることとなりました。

私自身、マンションに住んだ経験がなく、マンションの安全・維持管理に関する知識はほとんどない状態からのスタートでしたので、私が機構の一員として、プログラムの開催側としての役が務まるのかかなり不安もありました。そんな中、セミナーの直前にはカード作りやリハーサルの参加など、私なりにできる作業を通じて準備のお手伝いをさせていただき、わずかながらメンバーの一員としてお力になれたのではと嬉しかったです。また、以前からセミナーで使用する教材類はすべて手作りだということは存じていたものの、実際に準備に携わることによって、教材のデザインから印刷、切り分けまでを丁寧に時間をかけて行っていることを身をもって体感することができました。さらに、リハーサルでは機構のみなさんとすごろくゲームを体験することで、子どもたちが楽しみながらマンションの安全・管理について学べるよう工夫されたゲーム作りの巧みさ・面白さに改めて驚かされました。

そして当日、やはり初のセミナー参加ということもあって、実際に会場に入って子どもたちを迎えるまでは、一体どのような子どもたちが参加し、どのような雰囲気でもプログラムが進められていくのかなどわからない面も多く、不安な気持ちもありました。しかしいざセミナーが始まり、タワーマンションに興味津々で、すごろくやカードゲームに夢中になる子どもたちを目にすると、自然と私も前のめりになるほど楽しく子どもたちと接することができました。さらに、会場探検の安全設備の紹介やすごろくのマスの説明など、少し知識がないとできないような役も、機構の方々にサポートしていただいたおかげで無事にこなすことができ、私もマンションドクターへの第一歩を踏み出したようで嬉しかったです。

今回のセミナーでは、どのように説明すれば子どもたちが話に興味を持ってくれるか、どのように接すると心の底から楽しんでもらえるかなど、実際に子どもたちと触れ合うことでできた多くの発見がありました。次回のセミナーからは、今回得ることができた自分なりの感覚を活かして、さらにパワーアップしたマンションドクターとしてサポートをさせていただきたいと意気込んでおります。よろしくをお願いします。

### 開催報告

## 大規模改修工事実践講座（工事見学会）

### 第134回 勝山東ガーデンハイツ（7/6）～3回目の大規模改修工事と改善・改修工事への取組み



現場見学に先立ち、設計監理を担当した小薄和男と細井健至（ともに主任専門委員/一級建築士）が竣工から今回の工事に取り組むまでの修繕履歴と今回工事の流れ、工事説明会や工事内容、工事監理のポイントについて説明しました。修繕積立金や、管理組合の運営、取組、広報活動、そして今までの膨大な資料の管理方法などに関する参加者からの質問に対し、修繕実行委員会委員長が丁寧に答えられました。

### 第135回 名谷14団地（9/21）～住みたいと思える魅力ある団地を目指した改修工事～ ※後援：神戸市すまいとまちの安心支援センター



初めに設計監理を担当した中島幸博主任専門委員（一級建築士）より調査診断・設計監理から工事の概要について説明がありました。入居後41年が経過し3回目の大規模修繕工事になりますが、建物の構造の利点を活かし、今回の工事では外壁塗装に高耐久性の材料を使用し、斜壁も塗装から屋根材へ変更したことなどにより、今まで12年だった大規模修繕工事の周期が今後は18～20年周期になることが見込まれます。毎週末、複数名の役員が工事の検査をするなど、熱心な管理組合の取組みにも参加者は感心していました。